

令和2年度（2020年度）「学校版環境ISOの取組」好事例紹介

義務教育課

【小学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立高平台小学校	みどり委員会や環境委員会を中心に、児童と職員が目標を設定し、学校全体で取り組んでいる。腐葉土づくり、節水、節電、古紙のリサイクル、記名呼びかけの取組をそれぞれ「自然エコ」「水エコ」「電気エコ」「紙エコ」「ものエコ」と名付け、児童に意識させるようにしている。さらに、腐葉土づくりの場所に看板を設置したり、リサイクル週間に校内放送で呼びかけたりと主体的な活動を行っている。
	熊本市立白川小学校	環境委員会が各学年、学級でできることを提案し、学校全体で取り組んでいる。水道使用量や持ち物への記名の目標について、具体的な数値目標を掲げている。環境委員会がリサイクルBOXを作成し、各学級に配付したり、月に一度、記名の日を設けたりと、工夫しながら進めている。また、職員もコミュニケーションアプリを使用して連絡するなど、紙使用量の削減に取り組んでいる。
山鹿市	山鹿市立菊鹿小学校	環境委員会を中心とした掃除や節電・節水コンクール、アルミ缶集めや資源物回収など、児童と教職員、保護者が一体となり、継続的に取り組んでいる。一方、新しい取組として、6年生が国語科の「提案文章を書こう」の学習と総合的な学習の時間の横断的カリキュラムの中で、「自分たちができること」を具体的に提案し、学校全体の環境に対する意識高揚が図られている。
宇城	美里町立励徳小学校	環境委員会での発表や給食集会など児童が主体となり、多角的に環境活動に取り組んでいる様子が伺える。電気や水の使用量について、日頃の取組が成果として表れているかを継続的に記録し、月別の取組や目標の見直しにつなげている。ガイドボランティアや校区探検ウォークラリーなど、地域の方々とのふれ合いを通して、地域の自然のすばらしさを体験させ、環境学習を推進している。
玉名	玉名市立八嘉小学校	八嘉小環境ISO宣言を環境委員が全校児童に提示し、節電・節水・花いっぱい運動・リサイクル活動等に学校全体で取り組まれている。花いっぱい運動について、今年度は、参加人員を限定し、八嘉小花づくり委員、保護者及び教職員で国道沿いの花壇整備を行っている。取組を学校からの便りやHP等で紹介したり、育てた花を学習等でお世話になった地域の方々に贈ったりしている。
菊池	菊陽町立菊陽西小学校	具体的な数値目標を掲げ、児童、職員がそれぞれ取り組み、目標を達成できている。また、PTA美化委員会と連携し、校内の環境整備に力を入れている。さらに、熊本県農林水産部林務課の「花木友の森」事業に応募し、行政、PTA及び児童で植樹を行い、環境整備だけでなく、体験を通じた意識面の育成も図っている。今年度の活動を踏まえ、次年度への課題設定もできている。
阿蘇	阿蘇市立阿蘇西小学校	具体的な数値目標を設定し、それに応じた宣言目標を示すことで、児童が主体的に取り組みやすい活動を計画している。これまでの取組をもとに、コロナ禍であっても継続的に取り組むことができる活動（ペットボトルキャップ収集、花植え活動、ポスター作成等）を丁寧に進めている。活動の記録を把握し、大きな成果を明らかにすると同時に、今後の課題に向けた方向性を明確にしている。
上益城	益城町立津森小学校	学校の重点指導目標に、「学校版環境ISO活動に取り組み、児童の環境保全への意識を高める」を位置付け、学校行事・PTA活動・児童会活動・総合的な学習の時間・道徳科・教科等との関連を図った取組を進めている。九州大学との連携活動「冬たんぼ生物調査とたんぼの役割」、PTAと連携した農園活動など、地域や関係機関と連携した取組を行い、環境への関心や意識を高めている。
八代	八代市立太田郷小学校	学校の課題に合わせた重点取組事項を決め、学校総体として取り組んでいる。校内には自分たちの取組を分かりやすくまとめた「環境ポスター」を掲示しており、校内放送とともに啓発活動に役立っている。そのこともあり、活動の意義は多くの児童に周知され、環境を守るための積極的な取組が進められるようになってきている。

	氷川町立宮原小学校	P T Aや学校運営協議会、地域学校協働本部と連携した取組を展開し、地域とともに環境保全活動を推進している。児童会活動においては、残菜チェックや掃除チェックなどに継続して取り組み、年間を通して取組の意識化が図られている。宣言項目に対する「エコ活動振り返りカード」の実践では取組をP D C Aサイクルで進め、電気使用量や水道使用量のグラフを作成し、取組の成果を可視化している。
芦 北	水俣市立久木野小学校	具体的に目標数値を設定しており、また、全校で花壇の整備を行う等、環境美化に学校一体となって取り組んでいる。「山づくりが水俣の海づくりにつながる」という観点を持ち、植林活動を行う計画も立てられている。毎月の達成率をグラフ化し、周知啓発を行っている。K B S Nチェック（K：靴箱・傘立て B：ベランダ S：スリッパ N：流し）など、独自の活動を行い、児童の意識向上を図っている。
球 磨	人吉市立東間小学校	全校児童からの募集を基に「藍田っ子環境I S O宣言」を決定し、児童主体の活動が展開されている。6年生の朝のボランティア活動を手本にして取組もうとする様子が、中学年や低学年の児童にも見られる。本年度は「家庭版環境I S O」として、児童が家族とともにS D G sを意識した環境保全活動に、夏季休業期間及び冬季休業期間を中心に取り組んでいる。各家庭での取組内容を校内の環境コーナーに掲示している。
天 草	天草市立御所浦小学校	全児童を対象にしたアンケートから課題を見出し、取組事項が決められている。環境委員会が中心となり宣言項目や呼びかけのポスターを校内の各場所に掲示して意識化を図るなど、主体的な児童会活動が行われている。ごみ減量コンテストなど、気持ちの良い環境を整える取組もなされている。電気と水道の使用量について昨年度と比較したグラフを作成し、増減の理由を環境委員会で話し合い、行動の工夫改善につなげている。
	上天草市立姫戸小学校	宣言項目や具体的な実践事項について、環境栽培委員会が中心となり取組を進めている。環境に関する集会の設定を行ったり、環境問題に関するクイズラリーを行ったりしながら、児童自らが身近な環境に対して気づき、考え、実践する意識を高めるための手立ての工夫がなされている。各学級において、宣言項目の達成状況の振り返りを毎月行い、結果をグラフ化し、掲示や放送を活用しながら、成果や課題を全校に啓発している。

#### 【中学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立河内中学校	委員会を中心に生徒と職員が具体的な数値目標を掲げ、学校全体で取り組んでいる。地域の方と連携しプールの水の浄化を行ったり、P T Aと協力し再生資源の回収を行ったりと地域・家庭と一体となって取り組んでいる。学校前の道路に花を植える「河内オレンジロード」や全生徒が花壇で花や野菜を育てる「花いっぱいやさいもりもりプロジェクト」など工夫した取組を行い、生徒の活動意欲を高めている。
	熊本市立出水南中学校	S D G s（持続可能な開発目標）を意識した目標を掲げ、学校全体で取り組むとともに、総合的な学習の時間と絡めた取組を行っている。校内での取組では教育支援アプリを活用し、食の大切さを呼びかけるなど、工夫して取り組んでいる。校外では、江津湖の清掃活動を行ったり稚魚放流を行ったりと地域貢献を意識して取り組んでいる。S D G sと繋げて考えたことで、身近な問題と世界的な問題との繋がりが意識化できている。
山鹿市	山鹿市立鹿北中学校	生徒会の生活環境委員会がアンケートを実施し、その結果を基にI S O宣言項目が設定されており、「無言掃除+1（プラスワン）」や「キャップアート」の企画など、生徒の意見を取り入れ、より主体的に参加できるよう改善がなされている。様々な活動を通して、生徒の環境への意識が高まると同時に、育てた花苗を地域に配布するなどの地域貢献活動にもつながっている。
宇 城	宇城市立不知火中学校	生徒会と各専門委員会からの定期的な呼びかけにより、環境I S Oの取組が促進されている。給食委員が給食残食調査を行い、年間を通じて残食減少の成果が出ており、主体的な呼びかけによる学校全体の意識向上が見られる。また、行動計画に従って行動し、取組や数値目標に関する継続的な点検・記録が行われている。生徒と職員が協力した自問清掃を縦割り化するなど、活動全般において生徒・教師が一体となって取り組んでいる。

玉 名	玉名市立玉陵中学校	生徒会活動に環境 I S O の取組が位置づけられ、各委員会活動の中で節水・節電・美化・緑化活動等の取組が生徒主体に進められ、小中合同による校舎内や地域の美化・緑化活動等も計画されている。緑化活動では、スクールボランティアの日を設定し、生徒と教職員、保護者及び地域（学校運営協議会）が一体となり、土作りや花の植え替え等を行ったり、生徒による水かけや花がら摘み等の日常の手入れを行ったりしている。
菊 池	菊池市立菊池南中学校	E S D（持続可能な開発のための教育）に学校全体で取り組み、「E S D で身に付けさせたい能力・態度」を 8 項目設定し、環境教育にも対応させて実践している。生徒会活動の中で S D G s の 1 7 項目を意識した目標を定め、執行部によるボランティア活動、環境委員会によるアルミ缶・キャップ回収活動等、様々な委員会で社会に貢献している。総合的な学習の時間の中でも S D G s を取り入れた学習を行っている。
阿 蘇	南小国町立南小国中学校	環境委員スローガン（「more beautiful 作ろう 環境に優しい南中を」）を設定し、大きく 7 つの取組を計画している。環境委員会だけでなく、生徒会、代表委員会、PTA 行事等で実施していくことを生徒総会で了承を得て、生徒主体による取組の設定を行っている。コロナ禍の中でも地域への奉仕作業や異学年集団での清掃活動等が工夫されている。ボランティア活動への参加率について大きな成果が出ている。
上益城	山都町立矢部中学校	「節電」「節水」「校内美化」「紙のリサイクル」の 4 項目に対し、生徒と職員がそれぞれの数値目標、宣言項目を掲げ、一体とした取組を行っている。「校内緑化」に向けては、矢部高校から苗の植え方等の指導を受け、花植えをしたり、P T A 環境部会と定期的な美化作業を行ったりと、生徒会や地域等と連携を図りながら取組を進めている。整備委員会を中心としたエコキャップや書き損じはがきの回収等も継続して行われている。
八 代	八代市立鏡中学校	過年度の取組の反省を生かし、着実に取組が推進されている。特に、委員会活動を中心とした取組の中で、生徒自身が気づき、考え、行動することを通して新たな課題に気づき、解決に向けた活動に取り組まれている。そのことで、節電や節水、リサイクルに対する意識の向上に成果が見られる。
芦 北	芦北町立佐敷中学校	I S O 宣言から行動への取組に確実な繋がりができている。児童と職員が共通した取組を行う等、校内だけの取組に留まらず、美化活動では保護者や地域ボランティアの方（学級への生け花の設置等）にも協力してもらおう等、外部と連携した取組が行われている。また、環境 I S O 活動への生徒の意識づけもなされている。
球 磨	多良木町立多良木中学校	継続して取り組んでいる「節電」や「校内美化活動」では、クラスマッチ形式を取り入れ、生徒が意欲的に取り組み、成果をあげている。また、コミュニティ・スクールの「体験活動」部会や「環境美化」部会と連携し、生徒全員が地域に出かけ、地域の方々と清掃活動に取り組んでいる。コミュニティ・スクールと連携した活動により、地域と学校が一体となった環境保全活動が展開されている。
天 草	天草市立本渡中学校	生徒と職員共通の宣言項目を 4 つ設け、各項目に対して生徒と職員の行動目標が掲げられている。具体的数値目標を設け、美化委員会を中心に各クラスで目標達成に向けて実践されており、騒音を出さない環境づくりなど、快適な学校環境づくりに努めている。毎月、全学級で宣言取組を評価し、定期的に振り返っている。昨年度との比較ができるように電気・水道使用量等について月ごとに表とグラフで掲示し、意識化を図っている。
	苓北町立苓北中学校	生徒会を中心に、5 つの項目について共通実践がなされている。奇数月に目標への達成状況を振り返り、各学級の短学活や生徒会の取組に繋いでいる。美化コンクールでは、ごみの分別等について呼びかけ、各学級での取組を促している。継続した取組により、環境を大切にしようとする意識が高まり、自分で出したゴミを持ち帰ったり、ごみを積極的に分別したりする生徒の姿が多く見受けられるようになってきている。